

# 津波の猛威まさまさ

3月11日、巨大地震が日本を襲った。東北の沿岸部は津波で壊滅的な被害を受け、死者・行方不明者の総数は、2万7千人を超えた。その津波で冷却機能を失った福島第1原発では、炉心の溶融、水素爆発、高濃度汚染水の流出など、信じられないような重大事故が連続。安全神話は完全に崩れ、海や大気の環境汚染が深刻さを増している。もうすぐ1ヶ月を迎える今、私たちは被害の全容すらつかめていない。政府は国民を守る責任を果たしているのか。住む家や仕事を失った人々の生活はどうなるのか。不安が列島を覆う中、この危機を検証する。

# 長年の防災策粉砕 復興計画に 新たな教訓



たる三陸海岸は明治時代もたらして、東日本大震災に伴う大津波はそのいざれをも上回る規模で、犠牲者数は最も悪を記録。町や港がひとの目にされた瞬間に目撃した被災者は「まさに恐怖を語る。長年積み重ねてきた防災等は無駄だったのか。その時を振り返った。

### ▽町のみこむ

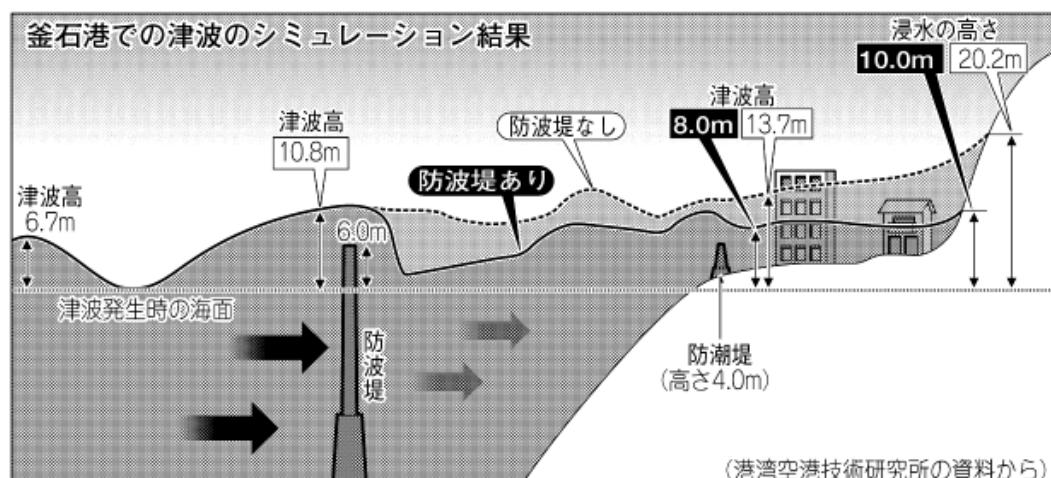
「海面がせり上がり堤防のはるか上を波が越えてきた」

宮古市の田老地区を観光で訪れていた関口和男さん(59)は大きな揺れを感じた後、町を見渡す高台にある三陸鉄道北リアス線田老駅のホームに駆け込んだ。大津波警報を伝える無線の声が響き渡る。逃げる途中、「五里の長城」との異名を

An aerial photograph showing extensive damage to the Fukushima Daiichi nuclear power plant following the 2011 tsunami. The image captures the plant's complex structures, including cooling towers and reactor buildings, which have suffered significant structural damage and flooding. A large area of the surrounding landscape is visible, showing the impact of the disaster on the local environment.

「損失25兆円」推計も

# 10トンの防潮堤軽々と



## インフラ頼み脱却へ



津波で破壊された釜石港の防波堤――  
5日、釜石市で共同通信社へりから

△迫る火の波
水産加工場が多く立 ち並ぶ気仙沼市の気仙 沼湾の入り口で白く立 ち上がった津波は、湾 沿いに張り巡らされた 高さ3m超の防潮堤を 越え、一気に沿岸部に なだれ込んだ。
冷凍工場に近い海沿 いでは、十数個並んだ 直徑約10mの石油タン クが次々と押し流され た。流れ出した重油に
着火。11日夕、市街地 や山林の広範囲で火の 手が上がった。 「何もかもが燃えて、 夕日かと思うほど鮮や かなオレンジ色の空だ った」。津波に襲われ、 アパート2階の自宅で 孤立した小野由実さん (32)は夜、おそるおそ る窓から外を見てい た。
同市朝見町の中央公 民館は3階建ての2 まで水没した。逃げ んだ約250人が居 に避難。周囲は黒い とがれきに埋まれ、 油の臭いが充満した 海に浮かぶ大島の左 から、ひっくり返っ 炎を上げる船を先頭 火の波が迫ってきました。 1960年のチリ 震で高さ約3mだっ た。

津波波高と被害程度						
津波波高 (m)	1	2	4	8	16	32
木造家屋	部分的 破壊		全面破壊			
	持ちこたえる		データ なし	全面破壊		
石造家屋	持ちこたえる		データなし		全面破壊	
	持ちこたえる		データなし		全面破壊	
鉄筋コンクリートビル	持ちこたえる		データなし		全面破壊	
	持ちこたえる		データなし		全面破壊	
漁船	被害発生		被害率 50%	被害率100%		
	被害軽微 津波軽減		漂流物阻止	部分的被害 漂流物阻止	全面的被害 無効果	
養殖いかだ		被害発生				

（県）長年かけて築かれた防潮堤は無力だ。た。「海の近くに住みたいようにするしかい」避難所暮らしが力なくつぶやいた。

津波は高さ約9メートルで、北にある両石防波堤は巨大な威力を削られることなく16～17メートルに達しえる。

約100台以上とした。戸別受信機はコンセントに差して壁などに掛けた。災害発生時に職員が防災対策庁舎の放送室で話した内容が一斉に全家庭へ。乾電池を入れておけば、停電になつても、電波を受信することができる。

民館は3階建ての2まで水没した。逃げんだ約250人が島に避難。周囲は黒いとがれきに囲まれ、油の臭いが充満した海に浮かぶ大島の左から、ひっくり返る炎を上げる船を先頭火の波が迫ってきてきた。1960年のチリ震で高さ約3メートルの津波は今回、湾最奥の市街地で5~6メートルで10メートルを超えた。「過去最大の津波にえられるよう」(京

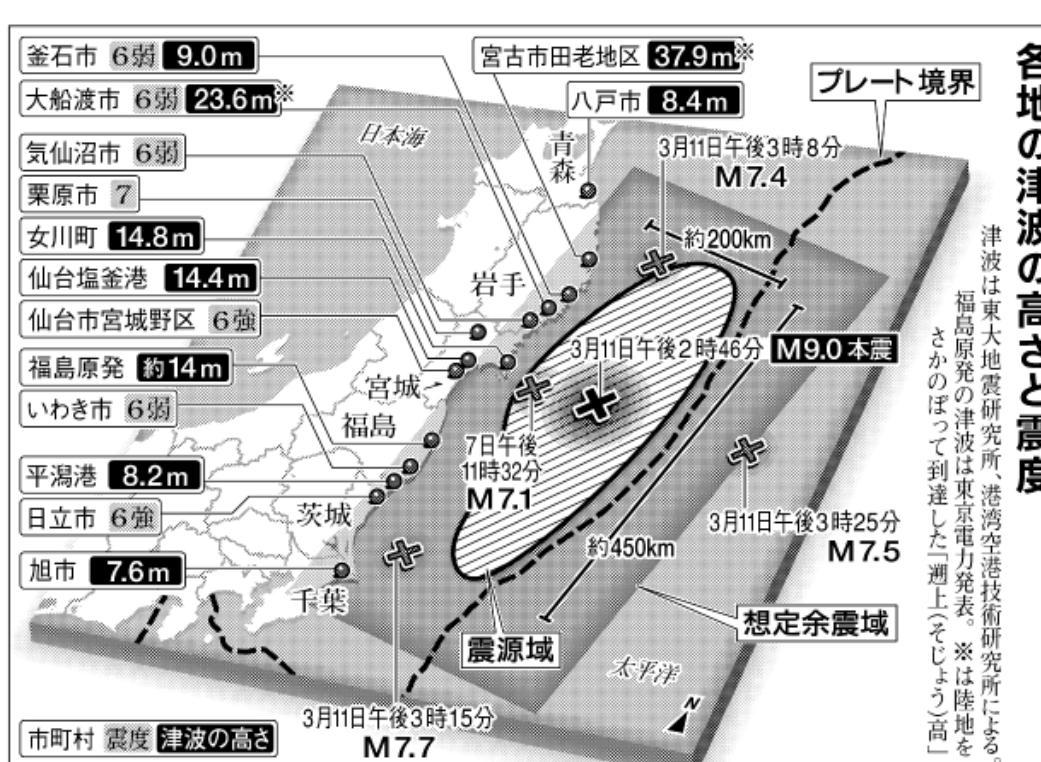
門を閉めた際、海水がさーっと引き、海底がむき出しになっているのに気付いた。3階建ての屋上へ避難。津波に押し流された家が水没した交差点周辺で渦に巻き込まれる。濁流が引くと水門はなくなっていた。

2009年3月に完成した釜石港の防波堤は、海面からの高さが6メートル。最大水深63メートルに達する基礎は世界最深としてギネスブックに登録された。しかし、今回の津波はこの防波堤と、内側の高さ4メートルの防潮堤を越えた。

釜石湾に押し寄せた

明治三陸地震津波で民の8割以上18人が犠牲となり、33年の昭和三陸地震でも911人が死亡し行方不明となつた。これら教訓を踏まえ、34年に防潮堤を備に着手。40年以降で完成した堤は、構造で、高さ約10メートル、総延長は約2・4キロメートル。一部が建設及び一部が建設されており、その際は、犠牲者を出した「日本」の防潮堤として国内外の手を借りた。しかし、東大地震研究所の現地調査によると、今回、田老地区

**各地の津波の高さと震度**



この紙面の著作権は岩手日報社が保持しています。無断転載、複製及び配布は禁止します。